

どさんこ食育推進事業費

予算額	40,045千円(前年度 16,583千円)
うち道費	1,208千円(前年度 1,510千円)

1 事業の目的

第4次北海道食育推進計画（どさんこ食育推進プラン）に基づき、地域のネットワークを強化し、道民運動として食育を推進するとともに、「どさんこ愛食食べきり運動」を全道的に展開し、家庭や外食での食べ残しを減らすなど、食品ロスの削減に向けた取組を進める。

2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	事業実施主体	予算額
食育の推進	○優良な活動への表彰 ○食育推進検討委員会の開催 ○食育関係団体との情報共有 ○ライフステージに応じた食育講座の開催	北海道	1,377 (819)
食品ロス対策の推進	○食品ロス対策会議等の開催 ○地域研修会、消費者向け学習会の開催 ○地域の優良事例調査の実施		668 (389)
市町村等の取組への支援	○食育推進検討会の開催 ○食育セミナー、シンポジウム、料理講習会等の開催 ○農林漁業体験機会の提供ほか	市町村等	38,000 (0)
合計			40,045 (1,208)

3 事業実施期間

平成29年度（2017年度）～令和5年度（2023年度）

〔担当：農政部食の安全推進局食品政策課〕
(内線 27-667)

道産農産物等需要喚起対策事業費(新規)

予算額	5,960千円(前年度	0千円)
うち道費	0千円(前年度	0千円)

1 事業の目的

近年、栽培が増えているにんにく、さつまいも及びらっかせいについて、付加価値の向上と更なる需要の拡大を図るため、飲食店をはじめ、パンや菓子などの製造事業者と生産者とのマッチングを進め、新たなメニューの開発や商品の提供に取り組む。

2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	予算額
需要喚起	○ 消費拡大フェア ○ 生産者と実需者との意見交換、マッチング ○ 外食事業者や将来の食を支える調理専門学校生を対象とした産地見学会	5,960 (0)
合計		5,960 (0)

※ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

令和5年度(2023年度)

〔 担当：農政部食の安全推進局食品政策課
(内線 27-682) 〕

中山間ふるさと・水と土保全対策事業推進費

予算額	27,022千円	(前年度	27,012千円)
うち道費	12,622千円	(前年度	12,612千円)

1 事業の目的

農業・農村の有する多面的機能を良好に発揮させ、農村の活性化を図るため、農地や土地改良施設、自然環境、景観、農産物、伝統文化、歴史等の地域の特色ある多様な資源を活用した交流や食品・料理開発などの地域住民活動を支援するとともに、地域に愛着を持って活性化の取り組みを進めようとする意欲的な人材を育成する。

2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	予算額
地域活動支援事業	○地域の現状把握や住民意識醸成、地域住民の主体的な活動計画の作成、多様な実践活動及び活動の評価・検証などを支援	6,246 (0)
研修事業	○地域住民活動の活性化に関する推進指導及び助言等を行う人材の育成を実施 ・北海道ふるさと・水と土指導員の委嘱 ・指導員会及び研修会の開催など	6,102 (0)
推進事業	○事業の円滑な執行と効果的な推進、さらには地域住民活動の拡大 ・中山間ふるさと・水と土保全対策委員会の開催 ・啓発・普及活動の実施	1,353 (0)
保全ネットワーク推進事業	○中山間地域の保全や多様な資源を利活用した活動への地域住民の積極的な参加促進を図るために啓発・普及の実施	275 (0)
保全活動推進事業	○中山間地域の保全や多様な資源を利活用した活動に関する推進指導及び助言等を行う人材を育成	424 (0)
合計		14,400 (0)

※財源については、北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業基金を活用

(単位：千円)

区分	事業内容	予算額
基金繰出金	○繰替運用の段階的解消に伴う基金への繰出金	12,622 (12,622)

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

平成5年度(1993年度)～

(担当：農政部農村振興局農村設計課
(内線 27-877))

多面的機能支払事業費

予算額	9,214,041千円	(前年度	9,212,311千円)
うち道費	2,999,747千円	(前年度	2,999,538千円)

1 事業の目的

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地や水路など地域資源の適切な保全管理や質的向上を図る地域の共同活動、施設の長寿命化のための活動等を支援する。

2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	事業実施主体	補助率	予算額
農地維持支払事業費補助金	○市町村が農地維持支払を実施する農業者等の組織する団体を支援する場合に助成 ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の砂利補充等の基礎的保全活動 ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成等	農業者等の組織する団体	3/4以内 (国 1/2 道 1/4)	5,760,223 (1,920,074)
資源向上支払事業費補助金	○市町村が資源向上支払を実施する農業者等の組織する団体を支援する場合に助成 ・水路、農道、ため池の軽微な補修 ・植栽による景観形成、ビオトープづくり ・施設の長寿命化のための補修等の活動等	農業者等の組織する団体	3/4以内 (国 1/2 道 1/4)	3,239,018 (1,079,673)
多面的機能支払推進費	○道、市町村及び道協議会が適切かつ円滑に事業を推進するための事務費	北海道 市町村 道協議会※	定額	214,800 (0)
合計				9,214,041 (2,999,747)

※道協議会…北海道、交付対象組織がある市町村、北海道土地改良事業団体連合会、北海道農業協同組合中央会等から構成される団体

3 事業実施期間

平成26年度（2014年度）～令和5年度（2023年度）

（担当：農政部農村振興局農村設計課
（内線 27-862））

農業・農村コンセンサス形成総合推進事業費

予 算 額 17,188千円 (前年度 17,188千円)
うち 道 費 17,188千円 (前年度 17,188千円)

1 事業の目的

農業・農村が果たしている役割や多面的な機能について広く道民の理解を促進するため、農業者等が行う道民の理解を深めるための取組や、農業・農村ふれあいネットワークが行うマスメディア等を活用した取組を支援するとともに、農業・農村情報誌「confa（コンファ）」を発行して普及啓発を行う。

2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	補助率	事業実施主体	予算額
草の根交流 促進事業	○都市と農村の交流に意欲を持っている農業者の農場を「ふれあいファーム」として登録し、農業者自らによる道民の理解を深める取組を支援			11,457 (11,457)
ふれあいファーム推進 事業	○草の根交流促進事業補助金 ・ふれあいファームが共同で実施する農作業、加工体験の取組やPR資材の作成などの活動に対する助成 ○推進事業費 ・ふれあいファームシンボルプレート作成	1/2 以内	農業者 グループ 北海道	1,695 (1,695)
普及啓発 事業	○農業・農村情報誌「confa（コンファ）」の発行及び啓発		北海道	9,762 (9,762)
農業・農村 パートナー シップ促進 事業	○農業・農村パートナーシップ促進事業補助金 ・農業者と農業関係以外の団体や教育関係機関などが連携して取り組む協働活動に対する助成 ○パートナーシップ形成支援費 ・協働活動普及啓発の説明会及び研修会の開催 ・協働活動実践への指導助言 ○農村資源・集落機能等実態調査	1/2 以内	農業者と農業 関係以外の者 で組織する団 体、教育関係 機関など 北海道 北海道	2,327 (2,327)
コンセンサス づくり活動推 進事業	○コンセンサスづくり活動推進事業補助金 ・農業団体をはじめ関係機関や団体が連携、協力し、全道的な視点に立って展開するマスメディア等を活用した取組に対する助成 ○指導推進費	1/2 以内	農業・農村 ふれあい ネットワーク (構成：農業団体 、経済団体、消費 者団体など) 北海道	3,404 (3,404)
合 計				17,188 (17,188)

3 事業実施期間

平成9年度（1997年度）～

〔担当：農政部農政課〕
(内線 27-126)

農山漁村振興交付金推進費

予算額	2,500千円	(前年度	2,500千円)
うち道費	0千円	(前年度	0千円)

1 事業の目的

農山漁村が持つ豊かな自然や「食」を活用した「農泊」を推進する取組等を総合的に支援し、農山漁村の活性化、自立及び維持発展を推進する。

2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	予算額
活動団体の効果的な活動促進に向けた支援体制整備	○市町村職員・道職員・採択団体等の地域勉強会等の開催 ・職員の意識醸成、支援体制整備の促進等を図るための地域勉強会等の開催	1,268 (0)
道内の活動の状況調査・情報受発信手法の検討	○プロモーション手法勉強会 ・Web、SNS等を活用した効果的な情報受発信手法の検討	258 (0)
農泊に取り組む地域、農泊にこれから取り組もうとする地域への支援	○農泊推進ネットワーク会議等の開催 ・農泊に取り組む地域の連携強化を図るネットワーク会議の開催や、新規立ち上げ地域を支援する個別勉強会等の開催	974 (0)
合 計		2,500 (0)

※「農業・農村コンセンサス形成総合推進事業費」で計上

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

平成25年度（2013年度）～令和7年度（2025年度）

（ 担当：農政部農村振興局農村設計課
（内線 27-873） ）

新しい農業・農村づくり推進費

予算額	493千円(前年度 493千円)
うち道費	493千円(前年度 493千円)

1 事業の目的

世界的に経済連携協定（E P A）や自由貿易協定（F T A）を締結する動きが拡大しており、我が国においても日米貿易協定や日EU・E P A、T P P11協定、R C E P（地域的な包括的経済連携）が発効し、農畜産物の関税削減による需給の緩和や価格の低下などの影響が懸念されるほか、T P Pの加入拡大に向けた動きが進められている。一方でW T Oドーハ・ラウンド交渉の行方は不透明なままである。

こうした国際農業交渉に関する情報を的確に把握し、道民に本道農業の役割とともに周知するほか、農業・経済・消費者団体や地域の関係者と連携し、国へ要請するなど、本道農業が再生産可能となり、持続的に発展していくための取組をオール北海道で行う。

2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	予算額
北海道農業・農村確立 連絡会議等	○連絡会議 ○国等に対する提案活動	146 (146)
E P A交渉・W T O農 業交渉等バックアップ 事業	○E P A交渉等やW T O農業交渉に関する情報 収集 ○各種イベント・学習会などの啓発普及活動の 実施 ○T P P等対策検討のための意見交換	347 (347)
合 計		493 (493)

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

平成17年度（2005年度）～

〔担当：農政部農政課〕
〔内線 27-126〕

農村ツーリズム再生事業費（新規）

予算額	3,584千円（前年度 — 千円）
うち道費	2,133千円（前年度 — 千円）

1 事業の目的

農村ツーリズムは新型コロナウイルス感染症のまん延により来訪者が減少するなど大きく影響を受けていることから、受入団体に対する優良事例等の情報提供や受入農家等の意欲向上を図るための研修会の開催など、受入体制の強化に向けた取組を推進する。

2 事業の内容

（単位：千円）

区分	事業内容	予算額
受入人材育成・確保	○他業種間を調整する地域コーディネーター等の人材育成セミナーの開催 ○受入農家等の意欲向上等の研修会の開催	3,584 (2,133)
教育現場環境の変化に対応した支援	○学習指導要領の改正に対応した受入事例に係るフォーラムの開催 ○市町村間をまたぐ広域連携体制の構築に係る意見交換会の開催	
合計		3,584 (2,133)

※地方創生対策推進費

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

令和5年度（2023年度）～令和6年度（2024年度）

（担当：農政部農村振興局農村設計課
（内線 27-873）